

つくば市ネイチャーポジティブ宣言

私たちの暮らしは、食料や水の供給、気候の安定といった生物多様性を基盤とする生態系の恩恵(生態系サービス)によって支えられています。しかし、いま地球規模で自然環境の消失・劣化がかつてない速さで進み、生物多様性の喪失が深刻な問題となっています。この流れを食い止め、さらに自然の再生を目指す「ネイチャーポジティブ(自然再興)」の取り組みが、国内外で加速しています。

つくば市は、名峰筑波山をはじめ、豊かな生態系を擁する地域です。しかし、開発や里地里山の管理不足、外来種の侵入などにより、世界的な生物多様性の損失傾向と同様の危機に直面しています。

この現状を踏まえ、市は生物多様性に関する施策を戦略的かつ計画的に推進するため、令和7年3月に「生物多様性つくば戦略」を策定しました。本戦略のもと、つくば市は以下の3つの基本方針とキャッチフレーズを掲げ、ネイチャーポジティブの実現をここに宣言します。

<基本方針>

- ◆筑波山や田園・里山、研究学園都市のネイチャーポジティブ(自然再興)を目指し、生物多様性の保全に加え、回復に挑戦します
- ◆“科学のまち”の最先端の科学を学びながら、多様な主体が連携・協働して生物多様性に関する活動を行います
- ◆生きものとの出会いが日々の暮らしを豊かにするように、生物多様性が市の魅力の一つとなって幸せあふれる未来につなげます

<キャッチフレーズ>

生物多様性の共創によるネイチャーポジティブの実現

令和7年(2025年)4月1日

つくば市長 五十嵐立青